

**「要望された成分の OTC 化の妥当性に係る検討会議結果（案）」
に対して寄せられた御意見等について**

「要望された成分のスイッチ OTC 化の妥当性に係る検討会議結果」について、平成 29 年 9 月 11 日（月）から平成 29 年 10 月 10 日（火）まで御意見を募集したところ、個別成分に関する御意見以外に以下の御意見（どの成分に対する御意見か不明なものも含む）が提出された。なお、いただいた御意見のうち、同じ趣旨のものは適宜集約した。また、今回の意見募集とは関係しない御意見を 1 件承っている。

No.	提出者等	御意見
1	個人	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬全般に言えるが他の成分と配合される商品が多過ぎる。単剤の方が購入しやすい上、副作用が起きた時の対処もしやすい。 医療費抑制を検討するのであれば、スイッチ OTC をもっと出さないといけないと思う。また、スイッチ OTC 化された薬剤は薬価収載から削除するべきではないか。そうでないと、病院にかかった方が安く薬が購入できることとなり、OTC の購入に繋がらない。
2	個人	現状、スイッチ化されていない成分の OTC 化は、基本的には反対である。
3	個人	ベイスンやゼチーアなどの薬は、海外ではもっと簡単に購入できるので、市販化してほしい。少し血糖が高い、コレステロールが高い度に、仕事を休んで病院へは行きたくない。仮に初めは診断が必要だったとしても、それだけの処方のためであれば、年 1 回の検診だけで、薬は薬局で購入できてもいいのではないかな。
4	個人	他の要指導医薬品や第 1 類医薬品と同じくらい安全性が確立されているのであれば販売しても良いと思う。
5	個人	連休等で受診できないこともある、必要な時に受診しないと使えないでは意味がないので、市販化を希望する。
6	個人	比較的相談しやすい調剤薬局やドラッグストアの薬剤師が、本成分を扱えるようになることが、市民ためになるのではないかな。
7	個人	薬剤師として知識をきちんと持っているのであれば、説明・販売しても問題なく、また今後の日本医療の進歩にもつながると思うので販売を希望する。店頭でも聞かれることのある成分でもあり、薬局でも販売することができればとても助かる。
8	個人	OTC 化といっても、個々の販売店で能力差が有るのは否めない。あまりにハードルを下げすぎると、乱用の原因にもなる可能性がある。
9	個人	生活者の中には、説明は要らないなどの態度が多くみられる。一部の人しか閲覧できない情報についてマスメディアなど通じて広く知らせるなど、個人が最良の薬を選択できるような、情報の開示・教育・統制を行うことを希望する。
10	個人	5 品目どれも治療の幅が広がると思う。医療費の増大を考えると、OTC で治療できる疾患が増えることは医療費の削減、薬剤師の必要性が上がるのではないかなと思う。